

広島鉄構工業会 青年部会が総会 女性会員2人増

女性会員2人増

【広島】広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・ステントス社長）青年部会は2日、広島市で第26回通常総会を開催、24人が出席した。

冒頭、来賓として出



船山・青年部会長

席した山本理事長は「全国的にも青年部のあり方が見直されている中、広島は先行している。今年度から各県ごとの新しい技術提案の申請や研究に対して3年間の補助金制度を導入している。2018年1月からは正式にポルト穴のレーザー加工が可能となるが、広島県が中心となって成功に導いた結果だ。いろんなものを変えていくには若い力が必要なので、ともに協力して頑張っていきたい」とあいさつ。

続いて、青年部会長

の船山聖喜・三和鉄構建設工場長は「来年度には全国鉄構工業青年部連合会第27回全国大会が広島県で行われる。今年1年、成功に向けて広島県一丸となつて取り組みたい。また今回女性新入会員が2人増え、女性の参加は全国的にも珍しい。情報共有をしっかりと日頃の活動にも力を入れたい」と話した。

その後、総会の審議と17年度の事業計画の承認が行われた。水谷仁成・広島県鉄構工業会副理事長（永谷鉄工社長）は「仕事以外の経験から成長していただくために、青年部の活動を応援していきたい。横のつながりを大切にしてほしい」と述べた。